

平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月9日

上場会社名 株式会社ダイケン 上場取引所 東
 コード番号 5900 URL http://daiken.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北脇 昭 (TEL) 06-6392-5551
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績 (平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	5,055	△1.3	86	△64.6	97	△59.9	58	△64.7
27年2月期第2四半期	5,122	5.3	243	△4.7	244	△6.4	165	10.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第2四半期	9.97		—					
27年2月期第2四半期	28.23		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	13,999	11,244	80.3
27年2月期	14,557	11,243	77.2

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 11,244百万円 27年2月期 11,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	3.6	760	5.9	770	7.7	465	7.2	79.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期2Q	5,970,480株	27年2月期	5,970,480株
28年2月期2Q	97,673株	27年2月期	96,593株
28年2月期2Q	5,873,357株	27年2月期2Q	5,874,501株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済及び金融政策を背景に円安並びに株高が継続し、輸出環境や企業収益が改善され、緩やかな回復基調でありました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の成長に陰りが見られるなど、足元では海外景気の減速によるリスクが懸念されており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建築金物業界におきまして、主な需要先である建設業界の景況は、首都圏での大規模再開発事業や東北地方の復興需要などの高まりがあるものの、地方の業況は厳しいものとなっております。

しかしながら、相続税対策等による新築集合住宅向けや高齢者福祉施設の建設需要は、堅調に推移していくものと予想されています。

このような中、製品説明会の実施や同行販売などを通じて主力販売先との連携を高めてまいりました。

また、官公庁や建設会社、設計事務所へのスペックイン活動をはじめ、民間マンション管理組合への説明会等の強化、ハウスメーカー等への新製品等のPR活動などを進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、50億55百万円（前年同期比1.3%減）となりました。利益面では製造経費や販売管理費の削減に取り組みましたが、円安に伴う原材料費や運搬費等の高騰による影響を販売価格へ完全に転嫁できなかったこと、比較的利益率の高い製品の売上が減少したことなどにより、営業利益は86百万円（前年同期比64.6%減）、経常利益は97百万円（前年同期比59.9%減）、四半期純利益は、58百万円（前年同期比64.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高)：当第2四半期累計期間（自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日）

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)	構成比(%)
建築関連製品	4,982,181	98.6	98.6
不動産賃貸	73,247	102.6	1.4
合計	5,055,429	98.7	100.0

(建築関連製品)

建築関連製品につきましては、消費税増税による駆け込み需要の反動減が想定されていた以上に長引いており、底堅い需要はあるものの厳しい状況で推移いたしました。

そのような中、アルミ製笠木、外装ルーバー、ごみ収集庫及び自転車ラック等の製品について、集合住宅をはじめ、テナントビルリフォームや高齢者福祉施設向けの需要が堅調に推移したものの、企業間競争の激化により利益率が大幅に減少いたしました。

その結果、売上高は49億82百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益(営業利益)は、1億90百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

(不動産賃貸)

収益の主力でありますワンルームマンションで、経済の緩やかな回復基調のフォローもあって、入居率も増加傾向にありましたが、立地地域の周辺における小規模の賃貸集合住宅の新設が続いており、需要と供給のバランスの中で苦戦が続いております。

このような中、その他の法人向けテナントは安定した収益を確保しております。

その結果、売上高は73百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益(営業利益)は35百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ5億57百万円減少し、139億99百万円となりました。これは、現金及び預金が2億32百万円増加したものの、売上債権が8億3百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ5億59百万円減少し、27億54百万円となりました。これは、前事業年度の法人税等の納付に伴い、未払法人税等が2億6百万円減少したことや仕入債務及び未払金が2億53百万円減少したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ1百万円増加し、112億44百万円となりました。これは、前事業年度に係わる配当金を93百万円支払ったことなどから利益剰余金が35百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が37百万円増加したことが主因であります。

この結果、自己資本比率は80.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益が1億7百万円であったものの、売上債権の減少額8億3百万円、法人税等の支払額2億23百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて1億73百万円増加し、4億50百万円の収入となりました。

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入16百万円が発生したものの、有形固定資産の取得による支出92百万円、無形固定資産の取得による支出45百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて15百万円支出が減少し、1億22百万円の支出となりました。

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額93百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて12百万円支出が増加し、94百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ2億32百万円増加し、22億38百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階におきまして、平成27年4月10日に公表しております業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741,183	2,973,674
受取手形	2,271,765	2,063,686
売掛金	2,222,567	1,627,125
商品	7,572	5,282
製品	718,135	695,153
原材料	386,489	393,098
仕掛品	241,625	275,858
貯蔵品	26,458	26,606
繰延税金資産	112,705	83,945
その他	28,207	41,361
貸倒引当金	△2,237	△368
流動資産合計	8,754,472	8,185,426
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,060,809	2,015,189
機械及び装置(純額)	357,045	335,477
土地	2,045,900	2,045,900
その他(純額)	148,598	166,326
有形固定資産合計	4,612,354	4,562,894
無形固定資産	125,348	152,501
投資その他の資産		
投資有価証券	580,440	617,712
関係会社株式	20,000	20,000
保険積立金	390,805	388,661
その他	84,087	82,555
貸倒引当金	△10,020	△10,020
投資その他の資産合計	1,065,314	1,098,908
固定資産合計	5,803,017	5,814,304
資産合計	14,557,490	13,999,730

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	591,733	513,692
電子記録債務	-	213,365
買掛金	1,553,769	1,208,362
未払金	186,821	143,264
未払法人税等	228,248	22,121
未払費用	135,386	129,085
賞与引当金	197,163	163,649
役員賞与引当金	23,000	12,000
その他	137,000	76,766
流動負債合計	3,053,123	2,482,308
固定負債		
役員退職慰労引当金	90,775	95,775
繰延税金負債	76,835	81,986
その他	93,262	94,912
固定負債合計	260,873	272,674
負債合計	3,313,996	2,754,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	10,390,620	10,355,217
自己株式	△55,134	△55,843
株主資本合計	11,067,408	11,031,296
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	176,085	213,451
評価・換算差額等合計	176,085	213,451
純資産合計	11,243,493	11,244,747
負債純資産合計	14,557,490	13,999,730

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	5,122,546	5,055,429
売上原価	3,439,016	3,521,948
売上総利益	1,683,530	1,533,481
販売費及び一般管理費	1,440,340	1,447,430
営業利益	243,189	86,050
営業外収益		
受取利息	92	93
受取配当金	10,199	14,310
その他	6,507	10,306
営業外収益合計	16,799	24,710
営業外費用		
支払利息	5	5
売上割引	11,471	10,948
休止固定資産減価償却費	1,476	1,293
その他	2,904	634
営業外費用合計	15,858	12,882
経常利益	244,130	97,878
特別利益		
投資有価証券売却益	-	9,902
特別利益合計	-	9,902
税引前四半期純利益	244,130	107,781
法人税、住民税及び事業税	62,628	19,418
法人税等調整額	15,638	29,783
法人税等合計	78,267	49,202
四半期純利益	165,863	58,578

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	244,130	107,781
減価償却費	122,953	137,416
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△9,902
引当金の増減額(△は減少)	△43,074	△41,382
受取利息及び受取配当金	△10,292	△14,403
支払利息	5	5
売上債権の増減額(△は増加)	335,892	803,762
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,344	△15,719
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,233	△189,117
その他の資産の増減額(△は増加)	△23,555	△12,694
その他の負債の増減額(△は減少)	55,827	△48,735
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,743	△58,442
その他	△189	683
小計	510,862	659,251
利息及び配当金の受取額	10,292	14,403
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△243,903	△223,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	277,244	450,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113,727	△92,811
有形固定資産の売却による収入	3,142	136
無形固定資産の取得による支出	△13,336	△45,019
定期預金の預入による支出	△735,000	△735,000
定期預金の払戻による収入	735,000	735,000
保険積立金の解約による収入	-	7,539
投資有価証券の売却による収入	-	16,762
その他	△14,141	△9,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,062	△122,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△136	△708
配当金の支払額	△82,463	△93,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,599	△94,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	184	△170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	56,767	232,491
現金及び現金同等物の期首残高	2,007,862	2,006,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,064,629	2,238,674

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,051,132	71,413	5,122,546	—	5,122,546
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,051,132	71,413	5,122,546	—	5,122,546
セグメント利益	350,963	33,012	383,975	△140,785	243,189

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,785千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,982,181	73,247	5,055,429	—	5,055,429
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,982,181	73,247	5,055,429	—	5,055,429
セグメント利益	190,916	35,757	226,673	△140,622	86,050

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。